

研究指導教員の決定方法について

航空宇宙工学分野 博士前期・後期課程

■研究指導教員の役割

1. 研究指導は、分野教室会議が指名した教員（以下「研究指導教員」という）によって行われる。
2. 研究指導教員は、研究指導とともに授業科目の履修相談及び学位論文に対する指導を行う。
3. 研究指導教員は、学生ごとに1名以上を定めるものとする。

■副指導教員制度

1. 副指導教員は、研究指導教員と協力して学生の研究指導を補助的に行う教員である。
2. 副指導教員は、上記に加え、研究指導教員の指導についての相談やアドバイスをを行う。
3. 副指導教員は、学生ごとに1名以上を定めるものとする。

■研究指導教員の決定プロセス

前期課程

1. 志願者は、募集要項の担当教員表等をもとに、事前に希望する教員への研究室訪問や面談を行い、出願書類の志望理由書に「入学後の研究希望内容」を記載する。
2. 入試時の面接で、希望研究指導教員の調査を行う。
3. 入学手続き者（入学予定者）に対して、入学前に面談を行い、学生の希望を調査する（研究指導教員と研究テーマ）。
4. その結果をもとに、研究指導教員予定者は、学生の希望を考慮して研究テーマを提示する。
5. 学生は提示された研究テーマの中から希望の研究テーマを選択することで、研究指導教員と研究テーマが決定される。
6. 分野教室会議で承認し、入学前までに公表、連絡する。

後期課程

1. 志願者は、募集要項の担当教員表等をもとに、事前に希望する教員への研究室訪問や面談を行い、出願書類の入学願書に「指導を希望する教員名」、志望理由書に「入学後の研究希望内容」を記載する。
2. 入試時の面談及び出願書類の入学願書に記載の「指導を希望する教員名」および志望理由書に記載の「入学後の研究希望内容」をもとに分野教室会議において研究指導教員を決定する。
3. 入学前までに公表、連絡する。

■研究指導計画

本分野における研究指導計画は、以下の1～5のとおりである。指導教員は学生の研究指導を行うにあたり、この研究指導計画を明示し、毎年度の初めに、学生の1年間の研究計画についての打合せを学生と十分に行った上で、以下に沿って、研究指導を行うものとする。学生の研究指導計画の詳細は、学生の研究計画を確認した上で作成し、明示する。

前期課程

1. 研究計画の立案（1年次4月～8月）
 - (1) 学生は、決定した研究テーマに関して先行研究の整理等を行い、指導教員とともに研究計画を立案し、正副指導教員のチェックの後、これを研究指導計画書とする。
 - (2) 研究指導教員は、学生が研究計画を立案するに当たって、研究方法等を指導する。
 - (3) 指導教員は、学生が記入し提出した研究指導計画書の研究計画に基づき、課程修了までの研究指導計画を1年ごとに記載し、学生と副指導教員に明示する。
 - (4) 1年次8月（前期終了前）に研究計画の立案状況と研究進捗状況について、分野主催の研究経過報告会で発表し、研究指導教員以外の教員からも評価を受け、その後の研究計画の修正を行う。
2. 研究の遂行（1年次9月～2年次8月）
 - (1) 学生は、研究計画に従って研究を遂行する。
 - (2) 研究指導教員は、研究の進捗を確認しつつ、実験、解析方法等の指導を行い、研究結果をまとめさせる。
 - (3) 指導教員は、必要に応じて、研究指導計画の見直しを行い、毎年度の初め、研究指導計画を学生と副指導教員に明示する。
 - (4) 研究の進捗状況は、1年次2月、2年次8月の分野主催の研究経過報告会で発表し、研究指導教員以外の教員からも評価を受け、研究計画の修正を行い、その後の研究を遂行する。
3. 修士論文の作成（2年次9月～1月）
 - (1) 学生は研究成果のもとに修士論文の作成を開始し、研究指導教員のもとで修士論文をまとめる。
 - (2) 研究指導教員は、修士論文のまとめ方を指導する。
 - (3) 修士論文の内容は、2年次1月の予備審査で、主査予定教員と副査予定教員を含む教員の評価を受け、指摘事項を修正する。
4. 修士論文の提出（2年次2月）

学生は修士論文を指定された期日までに提出する。
5. 学生は研究報告書を作成し、正副指導教員のチェックの後、これを研究指導報告書とする。

後期課程

1. 研究計画の立案（1年次4月～8月）
 - (1) 学生は、決定した研究テーマに関して先行研究の整理等を行い、指導教員とともに研究計画を立案し、正副指導教員のチェックの後、これを研究指導計画書とする。
 - (2) 研究指導教員は、学生が研究計画を立案するに当たって、研究方法等を指導する。
 - (3) 指導教員は、学生が記入し提出した研究指導計画書の研究計画に基づき、課程修了までの研究指導計画を1年ごとに記載し、学生と副指導教員に明示する。
 - (4) 1年次8月（前期終了前）に研究計画の立案状況と研究進捗状況について、分野主催の研究経過報告会で発表し、研究指導教員以外の教員からも評価を受け、その後の研究計画の修正を行う。
2. 研究の遂行（1年次9月～3年次8月）
 - (1) 学生は、研究計画に従って研究を遂行する。
 - (2) 研究指導教員は、研究の進捗を確認しつつ、実験、解析方法等の指導を行い、研究結果をまとめさせる。
 - (3) 指導教員は、必要に応じて、研究指導計画の見直しを行い、毎年度の初め、研究指導計画を学生と副指導教員に明示する。
 - (4) 研究の進捗状況は、1年次2月、2年次8月、2月、3年次8月の分野主催の研究経過報告会で発表し、研究指導教員以外の教員からも評価を受け、研究計画の修正を行い、その後の研究を遂行する。
3. 博士論文の作成（3年次9月～1月）
 - (1) 学生は研究成果のもとに博士論文の作成を開始し、研究指導教員のもとで博士論文をまとめる。
 - (2) 研究指導教員は、博士論文のまとめ方を指導する。
 - (3) 博士論文の内容は、予備審査で、主査予定教員と副査予定教員を含む教員の評価を受け、指摘事項を修正する。
4. 博士論文の提出（3年次2月）

学生は博士論文を指定された期日までに提出する。
5. 学生は研究報告書を作成し、正副指導教員のチェックの後、これを研究指導報告書とする。